

交通事故をなくそう

9月21日、秋の全国交通安全運動キャンペーンの一環として、宮之城地区安全運転管理協議会青年部・女性部30名が交通事故防止パレードをおこないました。

同パレードは、交通事故の被害者をなくし安全運転に努めてほしいと、宮之城警察署管内の役場を訪問し、交通事故防止を呼びかけるものです。

本町役場前では、同協議会青年部長の帖佐竜一さんが「①飲酒運転を追放しよう②スピード違反を絶滅しよう③高齢者事故を絶滅しよう④シートベルト・チャイルドシートを確実に締めよう⑤早めの合図、点灯を励行しよう。」と交通事故撲滅に対する宣言文を読み上げました。

また同日は、早朝より街頭キャンペーンもおこなわれ宮之城警察署管内で約600人、本町でも多くの人が街頭に立ち交通安全を呼びかけました。県内では10月13日までに92名が交通事故で死亡しています。皆さんも交通事故には十分

注意してください。



▶宣言文を読み上げる帖佐青年部長

戸籍事務電算システム稼働

10月4日、戸籍事務の電算化がスタートしました。

この戸籍事務の電算化は、昨年11月より作業を進めていたもので、全体事業費は2,866万5千円。従来の手書きやタイプライターに比べ証明書の発行時間が短縮されるなどの利点があります。また宮之城町、鶴田町も電算システムを稼働させたことから来年3月の合併日以降は、同システムを相互に交流させ、さつま町の本所、支所どこでも戸籍の証明書の発行ができます。

当日は、町民福祉課カウンターの前で電算システム稼働を祝うテープカットがおこなわれ、山口町長が「今後は、ますます住民サービス向上と戸籍事務の円滑な執行に努めてください。」とあいさつしました。



▶電算システム稼働に先立ちおこなわれたテープカット

矢房橋渡り初め

過疎基幹農道整備事業として川薩耕地事務所が架け替え工事をおこなっていた中津川南地区の矢房橋が完成し、9月19日、渡り初めがおこなわれました。

矢房橋は中津川の別野と弓之尾の間を結んでおり、全長は26・7メートル。当日は、川薩耕地事務所長、町長などによるテープカットの後、参加者全員による渡り初めがおこなわれました。また両自



▶渡り初めの模様

治公民館から虚無僧踊り、鷹刺し踊りが披露され、祝賀ムードを盛り上げました。

たいよう

中津川小三年 押川伊央利君
たいようが ぎらぎら あつ
い 死にそうだ きょうは、
すぐくあつい日だ とつても
とつても あつい日だ

〔作文〕

そばのたねまき

中津川小四年 米盛 友惟君
三時間目から、四時間目ま
で、三、四年生と、そばのた
ねまきがありました。最初、
くわで土をほりました。その
次、たねまきをしました。お
母さん達やお父さん達が、親
切に教えてくれました。早く
そばに芽が出てほしいです。

ボンボンづくり

中津川小四年徳丸ありなさん
今日の放課後に家庭科室で
ボンボン作りがありました。
最初はどやうやっていいかわ
かりませんでした。でもやり
はじめたらだんだんできてき
ました。いちばんたいへんだ
ったところは、はさみで切っ
てさくところです。とつても
たいへんでした。でも、ちょ
っとだけ楽しかったです。